

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【香川県】

1 実践テーマ	【V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成】
2 実施対象者	香川県立香川丸亀養護学校 中学部・高等部の運動部参加者（32名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（ ） ③ ○その他（運動部の水泳活動） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	（1）スポーツを通じて目標に向かって挑戦したり、仲間と協力しながら取り組んだりする態度を育てる。 （2）大会への参加を通じて、他校の生徒との交流することで親睦や友好を深めたり、スポーツを楽しむ心を育成したりする。
5 取組内容	（1）大会前の練習 中学部・高等部の運動部活動参加生徒の中から泳力の基準（25mを完泳）を突破した32名で取組を行った。 5月中旬から7月下旬の大会まで本校プールで週に3、4日、放課後の時間（15時10分～16時30分）使って活動した。大会1か月前からは、毎日放課後の時間を使って練習に取り組んだ。また、土曜日は近隣の高等学校のプールや大会が開催される県立プールを利用して練習に取り組んだ。 日々の練習では、指導者と脚や腕の動きを確認したり、自分たちでタイマーを見て設定されているサイクルを意識したりしながら取組を進めた。 <練習の様子> 

	(2) 大会当日 練習などで訪れたことがある会場だったが、雰囲気の違いから緊張した様子が見られた。レース前にそれぞれの選手が課題とすることを指導者と一緒に確認していくことで、落ち着いてレースに臨むことができ、大会で自己記録を更新する選手が多かった。仲間と力を合わせてメドレーリレーやフリーリレーにも出場し、他校の選手と競うこともできた。メドレーリレーでは県大会優勝、男子フリーリレーでは県・四国大会で準優勝、女子のフリーリレーでは県大会で準優勝することができた。 ＜大会での様子＞  (3) 大会後 大会の成果や今までの取組を振り返る時間を設けた。これまでの活動を通して、身に付けた技能や高めた体力、仲間との協力や自分から活動していく姿勢などを確認し、次の運動部活動へつなげた。
6 主な成果	(1) それぞれの選手が目標や課題解決に向かって取り組んでいくことで、達成感や成就感を得ることができた。また、目標が達成できなかったり、他の選手に負けたりしたことで悔しさを経験し、これからの取組について考えることもできた。 (2) 練習中に、同じ種目に出場する選手たちの間で記録を競い合うようになり、スポーツを楽しむ心の育ちも見られた。 (3) 練習に取り組むことや大会に参加することを通して、テレビで放映されているスポーツを見る生徒が増えてきており、スポーツに対する興味・関心が高まった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	(1) それぞれの選手の泳力や参加する種目にあった練習ができるように、泳力や参加種目によってグループをつくり、レーンごとに分かれ、泳ぐ距離や運動の強度を調整しながら取り組んだ。 (2) 集団をチームとして意識できるように、準備や片付けを分担して行ったり、それぞれのレーンで泳ぐ人に出発の合図を出したりするようにした。 (3) 本校のプールで実施できないスタート練習を大会に向けて練習するために、近隣の高等学校や大会が開催される県立プールでの練習を行った。
8主な課題等	(1) 多くの選手を大会に出場できるようにしたいが、安全に練習を進めるためにプールなどの施設面や指導者の確保などの人材面での工夫が必要である。 (2) 様々な泳法の指導ができるように、職員の指導力を向上する。
9来年度以降 の実施予定	(1) スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成のために、今後どのような取組をしたらよいかを検討していきたい。